

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金五錢 廣告五錢 印刷費五錢 電話六三〇番 常盤毎日印刷所

刊夕日二十月二十

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

田中智學先生新著
一名團體讀本
日本とは
如何なる國ぞ
思想國難に對する大文字
一口五部以上は特に御相談
します
— 定價金八十錢 —
平町公園前
角忠……佐々木商店
電話二二三番

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

切斷の苦しみなく
ゆびはれ、やけど、淋病
梅毒、さりきず、乳はれ
くさ、りうまらす
其他化膿するもの一切
靈藥ムテキ
發賣元 **阿康藥店**
縣社下古鍛冶町(電話四四番)
スグキク二風、頭痛、ラヒト 有偽物
効力本位一神經痛、ラヒト 要注意
丹波博士創製 たんばあめ うまくてセキ
セキ トメ がヨクトマル

極上中學服入荷
一年生位 四圓五十錢
二年生位 四圓八十錢
三年生位 五圓十錢
平二 なかや洋服店 電二〇三

赤倉病院
(電話四七九番)

スター好 ナフトール着尺
新柄 モス着尺
新柄 ホグシ 仙
其外色々取揃申候
平町(電話五七番)
龜田屋

外科 外科一般
花柳科
婦人科 婦人科
内科 × 光線科
平町字田町

永久不變 平町三丁目
美術引伸 **齋藤寫真館**
寫真專門
— 獨逸最新式高級機械設備 —
(電話呼三五九番)

吉田眼科醫院

最新型腕卷時計
優秀
クローム側白金代用側
十型十石入アングル 7.50錢
九型十石入上アングル 11.00圓
全十五石入上アングル 9.50錢
全十五石入アングル 13.40圓
八型十五石入アングル 12.00圓
全十五石入上アングル 15.00圓

十八金側 金質保證
十型十石入上アングル 12.50圓
全十五石入上アングル 18.50錢
九型十五石入上アングル 15.00圓
八型十五石入上アングル 17.00圓

前店商屋釜目下五
用御省道鐵
店計時堂光金
(番六三七話電)

科外專
花内外 柳臟科 病外一 科科般
— (入院隨意) —
診察時間 午前八時より午後九時まで
但し急患は此の限にあらず
安齋外科醫院
平町田町大通り電話四三六番

預金賣買を致します
公債 株式 賣買
勸業債券高價買入
鈴木彌米商店
平町大町

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一三番

内臟外科 骨關節外科 整形外科 專門 **藤本 順**
産科 科 院長 **木村寅次郎**
平町新川町
外科 科 院長 **木村醫院**
産婦人科 電話一六四番

君は、いゝ型の洋服を求めたないか?
いや君コレは例の「ソレ」
正札堂
平町車通り **堂 札 正**

久全屋商店
磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番 一三九番
▽良品廉賣は勝る商譽なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

高久病院
院長 醫學士 **高久 忠**
副院長 新潟醫學士 **赤羽 清**
藥局長 藥劑師 **佐竹 菊雄**
下町田町 電話五一三番

平銀行との合併で 常磐銀行六十萬圓増資

目下の處重役の問題や 行員の整理などにふれぬ

百五十萬圓の資本と預金三
百萬圓貸金四百萬圓を擁す
る平銀行が去月中旬突如休
業して以來一ヶ月平銀行常
時者は極力常磐銀行との合
併により速かに開業の機運
を促進せんと百方奔走の結
果兩銀行重役會において既
にその合併が
承認さ せられたるは二十
六日の臨時株主總會で合併契約
をなし直に主務省に認可を
申請するに至るべきは既報
の如くであるが目下の處重
役の問題や行員の整理等に
は全然觸れない模様で廿六
日の臨時總會で合併を契約
すれば直に大藏省に認可の
手續きを とる一方
平銀行の本支店は二十七日
一齊に開業する事になつた
この合併により従來八百八
十五萬圓の資本だつた常磐
銀行は六十萬圓を増資し九
百四十五萬圓の資本を擁す
る事になる譯である

休業中の磐城銀行は 單獨開業の見込充分

内部の整理意外に進捗 悲觀説は一部の宣傳

休業中の平町磐城銀行は一
部から最早開業の見込がな
くなつたものゝ如く取沙汰
されてゐるが同行は休業後
單獨開業に向つて邁進し最
近は某方面から資金融通を
受ける準備も出來同時に
至難な されてゐた
重役の私財提供も略々決定
してゐるのと同様の開業は
唯時日の問題のみとなつた
が某有力者の觀測に依ると
「世上の一部の者に傳へら
れてゐる様に開業の見込が
ない事は絶対にない無理も
すれば今直にでも店を開け
る程度に整理も進捗してゐ
るし大藏省日本銀行との諒

炭價昂騰す 出炭制限更 よ嚴重とする

石城地方各炭礦は出炭送炭
制限を申合せ炭價の値上策
らうと

平町の大店舗が貸家 不景氣に悩む石城地方

たごなきしく明春を待つ

悪病の猖獗について銀行の
連續的休業の爲め徹底的金
融の行詰りを見せ殊に平町
には財界の暗黒時代が出現
した歳末を控へて平銀の休業
は最も大きな打撃で
現在銀行 に預金を
持つてゐながらも金融に苦
しまねばならぬ繁華な大通
りや夜逃同様に店を閉ぢ貸
家札が斜に貼り出された古
舗も出來た程悲惨な有様で
あつたが平銀行の合併も略
々確定し年内には店を開け
る運びに至つた爲めに幾分
ゆとりは見せて來たが若し
萬一年以内 店を開け
る事が出來なければどんな
結果になるか豫想出來ない
様な有様で華やかさを商賣



冷風に逢へば涙

冷風に逢ふて涙が出るのは
普通の結膜炎殊に春季カタ
ルといふ方に多いのでトラ

家庭調子

つたがこの現象は一時のも
ので永續性のものでないか
らと更に送炭の制限を嚴
重にし相互利益を計る事に
協議したがこれによつて復
活する炭礦も現れる模様で
非常によろこばれてゐる

師走の宵に 強盜騒ぎ

強盜騒ぎ

十日午後五時半ごろ石城郡
植田町瀬谷染物店外交員鈴
木某が同郡川部村小川山道
を通行中突然土工風の怪漢
が現れ同人の襟巻を以て首
を締め懐中より現金二圓餘
を中の褌口を強奪逃走した
ので植田署では非常線を張
り犯人嚴探中とのところ同夜
十時ごろ同村字瀬戸の農家
にも賊忍び入り衣類數點を
窃取逃走した事件あり同一
犯人と睨み捜査中

首謀者收容 十日平刑務所へ

十日平刑務所へ

磐城炭礦に於ける従業員
不良子弟が同礦坑を中心
に金品強奪と婦女誘拐を目
的として組織された一味卅
名に達する爆裂團の左記首
謀者六名は十日正午愈々傷
害及び治安警察法違反で送
致され直ちに平刑務所に收
容された
首謀者大串忠(三)西村武
(三)佐藤仙太郎(三)齊藤
榮(三)中村巖太郎(三)篠
田貢(三)假名

歳晩考 海で死ぬのは おら極樂往生

海賊のやうなヒゲ武者 磐城丸の船長さん

陸だど大概の日はは働ける
だらうが海ではめつたに働
くに都合の良いお天氣がな
い、けふ位の風だと陸では
平氣で働けるが海ぢやもう
駄目だ

今年の漁況でげすか？まづ
一ヶ年の内一月から四月ま
でを春職といつて底引網で
平目かれひを捕る、五月か
ら九月が夏職で鯉漁残りの
十月から十二月が秋職でま

の葉さ、わしら海で死ぬの
は極樂往生と覺悟してゐる
がそれでもシケと來ちや陸
が戀しいな

今年三期共豊漁の方で濱
の衆もいくらかいゝだらう
これまで八月にいとると沿
海十海里位の所でどんく
鯉が釣れたもんだが今年
沖合二百海里位が一番良く
釣れたので漁師も二百海里
の沖合まで出かけたがもう
かうなると小舟はまるで木

少年赤十字 貧兒救濟の試み

貧兒救濟の試み

平町第一小學校五年以上の
兒童を以て組織されてゐる
少年赤十字團發起となり貧
困兒童救濟のために若干金
を寄附したが該寄附金は御
大典記念事業として旗を賣
つた収益金と美譽と賞され

嘘を吐き科料 四倉

嘘を吐き科料 四倉

町字新町五肉商鈴木太平(三)
は去る八日双葉郡廣野村
大字下淺見川字櫻田飲食店
野村金藏方で熊谷とど時
會酒の金十二型上腕巻時計
をもちごりに窃取された同
村駐在所へ届け出たので渡
邊巡查取調べたところ自分
の腹掛けの中に隠匿して虚
偽の申立てをなしたことを判
明科料五圓に處分

正誤 謹啓昭和三年十二月
十一日附貴紙上に拙者等決
議文を株式會社平魚市出社
長加納五郎氏に提出したる
旨記載有之候も全然無根に
就き新聞紙法に依り御取消
相成度願上候
昭和三年十二月十一日
石城郡魚商共濟會
副會長 鈴木又六